

中川原C遺跡（第4次）発掘調査 調査説明資料

2006年6月28日(水曜日)
財団法人山形県埋蔵文化財センター



土壌（SK11）の遺物出土状況

調査要綱	
遺跡名	中川原C遺跡(なかがわらC)遺跡
遺跡番号	平成8年度登録
所在地	新庄市十日町字中川原
調査委託者	山形県農林水産部 最上総合支庁産業経済部農村計画課 野中地区ふるさと農道緊急整備事業
調査原因	
調査面積	1,000㎡
現地調査	平成18年5月11日～7月7日
遺跡種別	集落跡
時代	縄文時代・中世
遺構	土坑・溝跡・河川跡・ピット
遺物	縄文土器・土製品・石器・石製品・陶磁器類
調査担当者	調査第一課長 野尻 侃 主任調査研究員 石井浩幸 調査員 須賀井明子
調査協力	最上教育事務所・新庄市教育委員会 新庄土地改良区

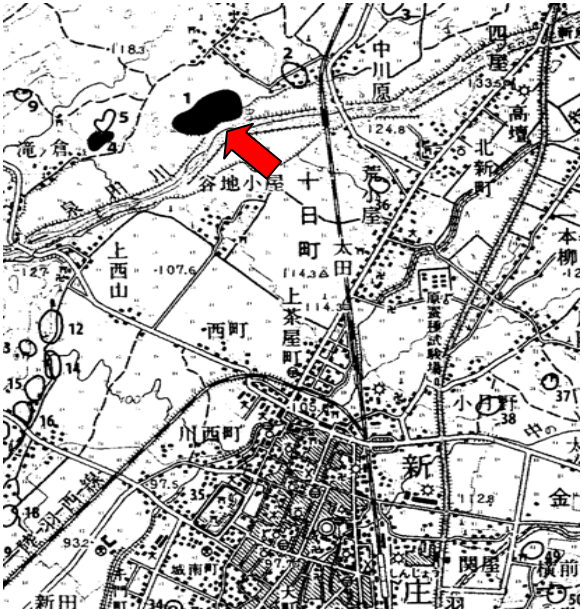
1 調査の概要

中川原C遺跡の発掘調査は、山形県農林水産部の「担い手育成基盤整備事業(野中地区)」に伴い、平成11年度・12年度に3次にわたる発掘調査が行なわれています。今回は、遺跡の中央南側に野中地区緊急農道整備事業により農道が建設されることを受けて、遺跡にかかる部分の約1000㎡について緊急発掘調査を行なうことになったものです。最上総合支庁経済産業部農村計画課と調査方法についての協議を経て、発掘調査を実施することとなりました。調査を予定している箇所は、第3次の用水路部分の調査の折、縄文時代の土壌が発見されており、関連する遺構の分布が予想されていました。

調査は5月11日～7月7日までの33日間にわたって実施しています。調査区域は、第3次調査の時のE区とした調査部分に繋がるところがあり、南端に埋没した谷状のくぼ地北端には河川跡のような落ち込みが見られました。調査して得られた記録類や遺物は、センターでの整理作業の後、発掘調査報告書としてまとめられ、平成18年度に刊行される予定です。

2 立地と環境

新庄市には旧石器時代から縄文時代にかけて多くの遺跡が存在することが知られています。特に泉田川の形成した段丘上には多くの遺跡が存在することが知られており、平成8年度の分布調査によって、本遺跡の周辺に多くの遺跡が存在することが確認されました。縄文時代の遺跡は、泉田川に沿ってせり出した台地上に立地し、川や山野の自然の恵みを得られる快適な環境の中にあっただものと考えられます。



遺跡位置図



調査区位置図



縄文土器



縄文時代の石器類



石錘（せきすい）



中世の陶磁器類

3 検出した遺構と遺物

今回の調査では土壌・溝跡・河川跡・ピット群などが見つかりました。土壌などは調査区中央部の地形的に高まり部分に密集して見つかりました。土壌は6基確認しました。ほとんどが深さ5cmから15cmで遺構の上部分は削り取られていました。南東側端の斜面部には谷状の遺物包含層があり、北西側端には河川跡が見つかりました。特に東端の谷部分からは多数のピットと縄文時代の遺物がまともに見つかりました。土器や石器のほとんどは小破片でしたが、大小様々な石が検出されました。

遺物としては、縄文時代の土器や石器・石製品・中世以降の陶磁器・古銭・碁石などが見つかりました。縄文時代の土器はほとんどが破片ですが文様のわかるものを観察したところ、縄文時代中期と後期初頭の頃(約4,000年前)の土器と考えられます。石器は石鏃・石匙・筥状石器・石錐などがあり、特に漁撈に関連すると思われる「石錘」が30個以上出土していることが特徴です。また、縄文時代の土器や石器とともに「水晶」が出土しました。ほぼ完全な形のため信仰的なものか装飾品等として使用されていたと考えられます。中世以降の陶磁器は珠洲系甕片、唐津焼きの皿が1点出土しました。その他、瓦片1点、古銭2枚、黒の碁石が1個が出土しています。

4 まとめ

中川原C遺跡の第4次調査によって、大昔の人々の暮らしの様子がいろいろとわかりました。調査により明らかになったことを整理すると次のことがあげられます。

1. 中川原C遺跡の西南部には縄文時代中期の集落が広がり、今回調査した東南区域には縄文時代後期の集落が広がること。
2. 遺跡の東には、中世(鎌倉時代)の建物があること。
3. 今回の調査区周辺からは、石錘が30点ほど出土しており、漁撈に関連する活動が伺えること。
4. 石英、玉髄、黒曜石、頁岩など、石器の石材が多様多様にわたっていること。
5. 以前の圃場整備により、遺構の上半部は削平されているものの部分的に保存されているため、今後も開発に当たっては慎重に発掘調査を進める必要があること。

以上のように数多くの調査結果を得ることができ、野中・中川原地区に暮らした大昔の人々の生活の様子を知ることができたことは、大きな成果と言えるでしょう。

今回の発掘調査にあたっては、地区民の方々の数々のご協力とご支援によるところが多々ありました。あらためて感謝申し上げます。また猛暑や雨の中、発掘作業に従事されました作業員の方々にも深く感謝の意を表します。



S G20 河川跡の検出状況



北西部の面整理作業



南東部の遺構



水晶の出土状況

遺構配置図

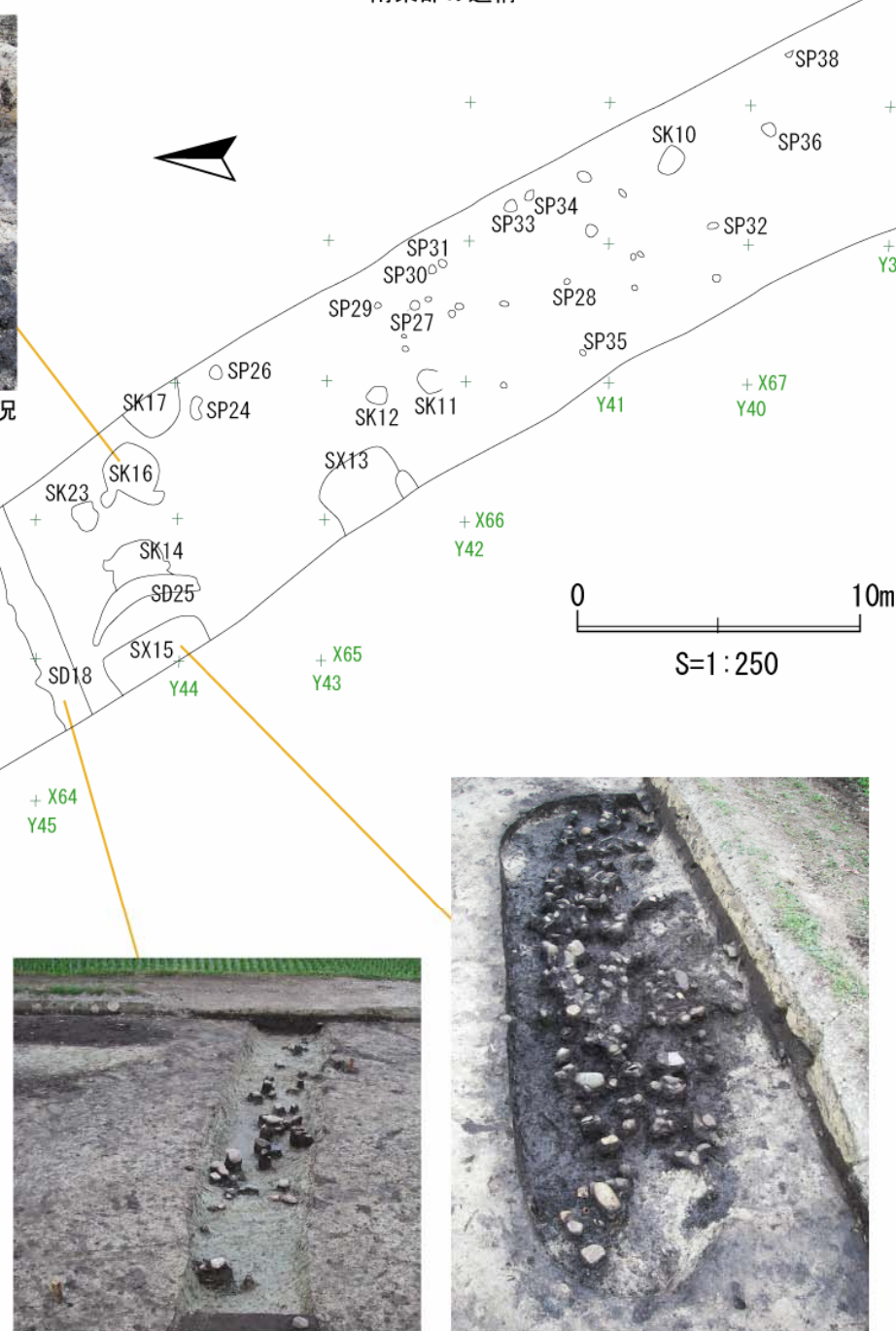
& 見所案内



石錘の出土状況



管状土製品の出土状況



S G 1 河川跡 3 層目検出状況



S G 1 河川跡 1 層目検出状況



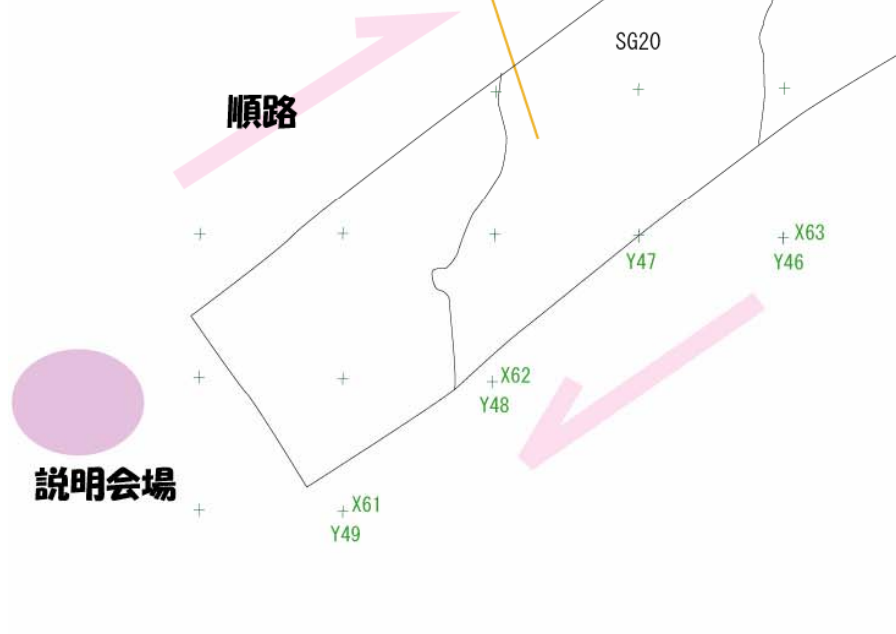
S X21 性格不明遺構



磨製石斧の出土状況



北西部の測量作業



説明会場